

2009・2010 年度経済見通し(2009年9月改訂)

当社は、4～6月期のGDP統計(2次速報)の発表を受け、経済見通しを改訂しました。日本経済は、輸出の持ち直しと政策効果によってプラス成長に転じ、回復過程に入っていますが、先行きの世界経済の急速な回復が見込めない中では、設備投資の反転が遅れ、本格的な回復は2010年度にずれ込むという前回予測の基本シナリオに変更はありません。なお、2009年度の実質成長率の予測値は、4～6月期の下方修正に伴い、下方修正しました。

実質成長率：2009年度 -2.9%(前回-2.6%)、2010年度 1.2%(前回1.2%)

予測表

年度	2008 実績	今回予測		前回予測(09.8.17)	
		2009 予測	2010 予測	2009 予測	2010 予測
実質 GDP	-3.2	-2.9	1.2	-2.6	1.2
民間消費	-0.5	0.0	0.8	-0.1	1.0
住宅投資	-3.1	-12.6	1.2	-12.6	1.2
設備投資	-9.6	-17.3	0.3	-15.5	1.7
政府消費	0.3	2.2	0.4	2.2	0.4
公共投資	-4.4	16.7	-6.5	17.5	-6.3
輸出	-10.2	-16.1	6.9	-16.6	5.4
輸入	-3.7	-14.5	2.0	-14.6	2.0
名目 GDP	-3.5	-3.0	0.9	-2.5	0.8
GDP デフレーター	-0.3	-0.1	-0.3	0.1	-0.3

[実質GDP寄与度]

内需	-2.0	-2.2	0.6	-1.7	0.7
外需	-1.2	-0.8	0.7	-0.9	0.5

(注)単位は前年度比

[四半期]

	2009 →予測			2010		
	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9
実質 GDP (前期比)	0.6	0.4	0.8	0.9	-0.3	0.1
(同年率)	2.3	1.6	3.0	3.5	-1.2	0.3
名目 GDP (前期比)	-0.5	-0.4	2.2	0.0	-1.0	-0.5

《本件に関するお問い合わせ先》 株式会社富士通総研 経済研究所 上席主任研究員 米山秀隆
電話 03-5401-8392(直通) E-mail: yoneyama.hide@jp.fujitsu.com

* 本資料は内閣府記者クラブにて配布いたしております。